

日曜日礼拝順序

憩いの場

2018年7月1日 午前11時 南部チャペル

“信徒の集まり”

前奏		鈴木義兄
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交読文	1	詩篇1篇
賛美歌	164	“こひつじをば ほめたたうる”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		下竹祐三郎兄
		ヨハネの第一の手紙1章1-4節
賛美歌	217	“あまつましみず ながれきて”
説教		“キリストにある交わり” Scroggins 由紀牧師
賛美歌	527	“わがよろこび わがのぞみ”
献金		下竹由美子姉
賛美歌	205	(1-2節)
聖餐式		
賛美歌	205	(3-4節)
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		鈴木義兄
(礼拝終了:奉仕開始)		

“ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互に励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。” (ヘブル人への手紙10章25節)

百聞は一見にしかずといいますが、実際に自分の目で確かめることは大事だと思います。去年の話ですが、私の実家の隣の市が舞台の映画が撮られて、駅も出ていたので、どんな所か確かめに行きました。実は、隣の市にもかかわらず、その駅で降りたことは一度もなかったのです。行ってみると、映画で撮られている雰囲気よりは、はるかに開けたところでした。映画は東京のさびれた郊外、というテーマだったせい、周りの賑やかさはとられていませんでした。映画というのは監督の視点を中心につくられているのだと実感した次第です。人の経験よりも、自分で実際に見たり聞いたり、体験したことは、自分自身により確信を与えてくれるものだと思います。

信仰生活も、様々な体験によってより大きな確信が与えられるのではないのでしょうか。このところ、教会の礼拝もYouTubeなどで配信されていますが、振り返ってみても、私にとっては人々と共に集まり、神を賛美し、礼拝を捧げることは、体験的な時間であり、動画だけで足りるようなものではありませんでした。特に若い頃、同じような年代の人々と集まり信仰を分ちあつた記憶は、私にとっての財産のような思い出です。私の信仰の成長に、関与してくれた友達に感謝するばかりです。

現代は引きこもってネットばかりしていても、何とか生活していける時代ですが、人々はその便利さに足元をすくわれてはいないのでしょうか。ヘブル人への手紙10章では、集会をやめることをしないで互いに励まし合いなさい、と書かれていますが、どのようなときも互いに祈りあい、神のみ言葉をもって励まし合う、という関係に信徒同士がなっているかは、教会の在り方において非常に大事であると思います。主のご来臨に向けて、私たちが神への礼拝讃美、信徒の交わりを保つことができますように。(Scroggins 由紀)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹博兄、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉、カレン語部の Pastor Roger など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

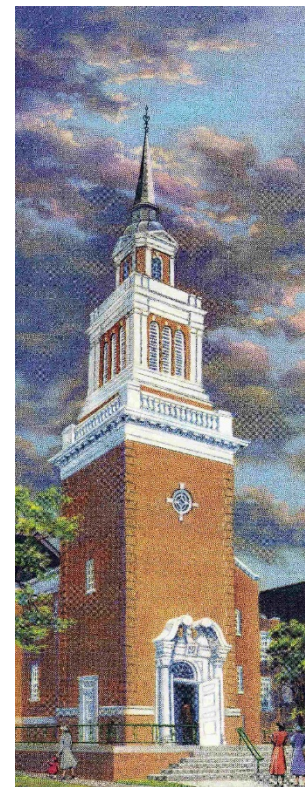
お知らせ

—毎週水曜日、午後6時から英語部の Sam Hartman-Pickerell 兄を中心に、Whole Foods (6009 N. Broadway, Chicago) にて、読書の感想や信仰とスピリチュアリティを分かち合う会がもたれています。興味のある方はどうぞご参加ください。(場所は Whole Foods のチーズ売り場の Seating Area だそうです。)

—8月5日の午前11時30分から、教会の前の通りでピクニックが行われます。詳細は追ってご報告します。

今週の聖句：油断することなく、あなたの心を守れ。命の泉は、これから流れ出るからである。(箴言4章23節)

発行：2018年6月27日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 内線26



週報

第3678号
2018年 7月1日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200
Web: www.northshorebaptist.org